

平成29年度 清須市認知症施策について

【国の動向】

●認知症高齢者の数は、平成24年で462万人と推計されており、平成37年には約700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人に達することを見込んでいる。

●厚生労働省では、団塊の世代が75歳以上となる平成37年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、『認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）～認知症高齢者等にやさしい地域づくりにむけて～』を策定

【新オレンジプランの施策（平成27年1月27日）】

- 1 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- 2 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
- 3 認知症の人の介護者への支援
- 4 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- 5 若年性認知症施策の強化
- 6 認知症の人やその家族の視点の重視
- 7 認知症予防法、診断法、治療法、リハビリテーション・介護モデル等の普及の推進など

●介護保険法一部改正
（包括的支援事業の充実）
・認知症施策の推進

平成30年度までに
すべての市町村で
事業実施

■ 清須市の認知症患者の推定値

（平成29年4月1日現在）

項 目	人数（見込数）
65歳以上高齢者人口	15,773人
認知症有病率推定値（15%）①	2,366人
MCI（正常と認知症の中間）状態の有病率推定値（13%）②	2,050人
① ②推定値	4,416人

※「認知症対策総合研究事業報告」（厚生労働省）より

①認知症有病推定値 ⇒ 15% ②MCI状態有病率推定値 ⇒ 13%

参考：平成27年度介護保険主治医意見書で、認知症があると判断された人 1,756人（2,581人中）

1 清須市の認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

○小・中学校へ福祉実践教室、行政出前教室などで認知症サポーター養成講座の実施。

○認知症キャラバンメイトには連絡協議会を実施。

■ 清須市の認知症サポーター及びキャラバンメイト数

（平成29年3月末現在）

認知症キャラバンメイト数	実人数 141人
認知症サポーター数	延べ 6,837人

※キャラバンメイトとは…認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務めていただく方（キャラバンメイト研修の受講、登録が必要）

※認知症サポーターとは…認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者
市町村や職場などで実施されている「認知症サポーター養成講座」を受講した方

■ 認知症サポーター養成講座開催数及び受講者数

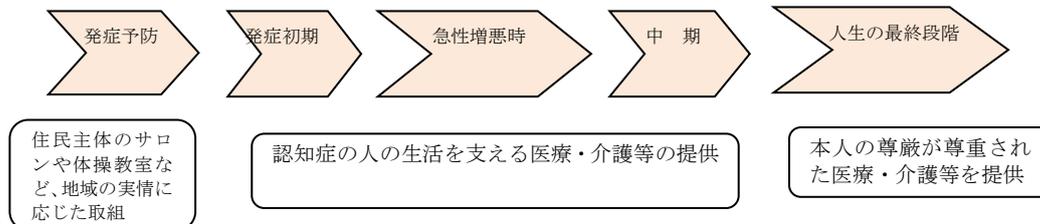
（各年度3月末）

種 別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
開催数	8回	14回	20回	26回	28回	16回
養成数	244人	423人	634人	1,078人	1,212人	807人
小学校 （再掲）	市内小学生	0校	0校	4校	3校	4校
		15人	0人	0人	293人	118人
中学校 （再掲）	1校	2校	3校	3校	4校	4校
		26人	69人	97人	82人	238人
累計	2,683人	3,106人	3,740人	4,818人	6,030人	6,837人

■その他普及啓発事業

- 認知症簡易チェックサイト
- 「読んで納得！まんがで学ぼう認知症」「清須市認知症ケアパス」の冊子（市内に設置）
- 認知症キャラバンメイト連絡協議会
- 市民公開講座「認知症サポーター養成講座」（9月7日実施）
- 認知症予防教室（チャレンジ教室）（5月～翌3月毎週・2会場）
- 行政出前講座などでの健康教育

2 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供



■早期診断・早期対応のための体制整備

- ・認知症初期集中支援チームの設置（清須市オレンジサポートチーム）

■医療・介護等の有機的な連携の推進

- ・認知症ケアパスの作成
- ・認知症地域支援推進員の配置（4名 平成29年3月現在）

※医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携の支援や、認知症の人やその家族等への相談支援を行う。

■認知症の人の生活を支える介護の提供

種類	名称(定員)
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	ペガサス春日 (9名) グループホームきよす (18名) グループホーム須ケ口 (18名)
小規模多機能型居宅介護	遊楽苑西枇杷島 (25名)

3 認知症の人の介護者への支援

介護者の精神的身体的な負担の軽減や、生活と介護の両立を支援する取組

■認知症カフェ

実施場所	ペガサス春日 喫茶コーナー	清洲の里
	福祉カフェ「なごみ」	福祉サロン「かぼちゃカフェ」
開設日時	平成26年4月～ 第1・3土曜日 午前10時～12時	平成27年6月～ 第1・3火曜日 午前10時～12時
運営	ボランティア	ボランティア

■介護家族者交流事業（地域包括支援センター）

内容	日時	会場
介護者のつどい	9月20日(水)、1月18日(木) 3月8日(木) 13:30～15:00	清洲総合福祉センター
介護講座	7月19日(水)、10月19日(木) 9:30～12:30	清洲総合福祉センター
リフレッシュ事業(日帰り旅行)	11月13日(月) 9:30～15:00	知多方面

4 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進（安全確保）

■ 高齢者の見守りを目的とした事業一覧

事業名	内 容
緊急通報システム事業	ひとり暮らし高齢者等の自宅に通報機器を設置し、緊急時に警備会社または受信センターへ通報することにより、必要な措置を講じる。
配食サービス事業	調理や買い物の困難な一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯等に対し、食事を配達することにより、食生活の改善、健康保持及び安否の確認を行なう。
「高齢者見守り活動」事業	市と協定を締結した市内事業者が、日常の業務の中でひとり暮らし高齢者等の見守りを行い、異変を感じた際に高齢福祉課又は地域包括支援センターに通報し、高齢者等へ必要な支援を行う。
高齢者の見守り、孤立化防止の啓発事業	出前講座等において、職員が地域に出向き「高齢者の見守り活動や孤立化防止」活動の普及啓発を行なう。
救急医療情報キット	自身の氏名、住所、生年月日、血液型などの基本情報、かかりつけの病院や持病などの医療情報、緊急時の連絡等を記入した用紙を専用のボトルにいれ、冷蔵庫等で保管し、万一の場合救急隊が病院に搬送する際にその情報を利用して迅速な対応ができる。
民生委員、地域包括支援センター職員による訪問	一人暮らし高齢者を対象に、「一人暮らし高齢者登録事業」及び「救急医療情報キット配布事業」の勸奨をかねて、民生委員が一人暮らし高齢者の訪問を行なう。地域包括支援センターが家族や地域の住民から高齢者に関する相談を受け、訪問等により必要な支援に結びつける。
成年後見利用制度	市長申立て等に係る低所得者の高齢者に係る成年後見制度の申立てに要する経費等

◎各種事業実績

■ 高齢福祉事業

○緊急通報システム事業

年 度	実設置件数	救急搬送対応件数	相談等対応件数
平成 26 年度	231 件	37 件	88 件
平成 27 年度	242 件	29 件	101 件
平成 28 年度	230 件	25 件	129 件

○配食サービス事業・・・配食サービス利用者数

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
339 人	338 人	323 人

○「高齢者見守り活動」事業・・・事業所数

(箇所)

新聞販売	牛乳販売	水道局	電力会社	ガス会社	郵便局	金融機関	その他	合 計
11	4	2	1	1	8	13	5	45

○清須市救急医療情報キット配布事業

平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	合 計
936 人	174 人	130 人	214 人	125 人	123 人	1,702 人

○徘徊高齢者登録事業・・・登録者数

平成 29 年 5 月末	19 人
--------------	------

○行方不明高齢者数

年 度	行方不明 高齢者数 ① =②+③	発見状況の内訳			
		発見された行方不明高齢者数			未発見者数 ③
		計②	発見時生存数	発見時死亡数	
平成24年度	5人	5人	5人	0人	0人
平成25年度	4人	4人	4人	0人	0人
平成26年度	3人	3人	3人	0人	0人
平成27年度	2人	2人	2人	0人	0人
平成28年度	7人	7人	7人	0人	0人

○清須市徘徊高齢者検索メール配信システム登録者数 (各年度末現在)

年 度	登録者数	配信件数
平成27年度	114人	1件 (近隣市より依頼)
平成28年度	151人	4件 (近隣市より依頼3件、市内1件)

■ 介護予防事業実績

○市民公開講座

認知症に関する講話 (認知症サポーター養成講座は除く)

	講 座 名	人 数
平成27年度	認知症を予防する ～生活習慣病予防と脳の生き生き健康法～	296人
平成28年度	認知症を予防する運動 ～コグニサイズを体験してみよう～	36人

○もの忘れ相談

内容：認知症かかりつけ医による相談 (本人以外からの相談も可)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
回 数	6回	6回	4回
件 数	9件	4件	4件

○認知症介護家族支援プログラム

- ・内 容：認知症の方を介護している家族へ、介護に関する知識の習得、仲間づくりへの支援。
- ・平成28年度のみ実施。6回、延べ45人参加

○認知症簡易チェックサイト (平成28年5月1日から開始)

- ・内 容：携帯やタブレット、パソコンを利用して認知症簡易チェックができる。
- ・利用状況：平成28年5月1日から平成29年3月31日 8,458件

○認知症初期集中支援事業 (平成28年10月から開始)

- ・内 容：認知症 (疑) の方とその家族を対象に、必要な医療・介護の導入や調整、家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行う。
- ・件 数：3件